

スポーツ社会貢献プロジェクト

プロジェクトリーダー 片山美咲
副リーダー 吉原歩花

活動理念及び概要

1

当プロジェクトが運営するイベントや参加するボランティア活動により、平塚市民及び秦野市民の生活の質を高める手助けを行う

2

生涯スポーツやニュースポーツを重点的に実施し、「誰でもどこでもいつでも」できるスポーツの提供を目指す

社会にもたらす効果



神奈川県民のスポーツ実施率は全国に比べて低い



当プロジェクトのイベントを通して、スポーツがしたくてもできない人々へ
スポーツの提供を行い、神奈川県民のスポーツ実施率を向上させる

所属メンバー数と活動日

【所属メンバー数】

104名

※所属学部学科の指定無し

【活動日】

ミーティング：毎週木曜日5限～

各イベント等：主に土・日曜日



主なイベント活動例



ノルディックウォーキング

【開催日】

5月・11月

【参加者】

平塚市に住む高齢者

(15名程度)

【活動目的】

平塚市に住む高齢者の
方々に生涯スポーツの楽し
さや重要性を伝えることで、
生活の質を高めるサポート
を行う

ノルディックウォーキング 活動報告

【イベント内容】

1 時間程度のノルディックウォーキング

【参加者アンケート結果】

満足度85%



主なイベント活動例



子どもの家

【活動日】

9月～10月

【参加者】

秦野市・平塚市に住む小学生（各館20名程度）

【活動目的】

コロナなどで思うように体を動かすことができなかった周辺地域に住む小学生へ、スポーツの楽しさを伝えることで生活の質を高めるサポートを行う

子どもの家 活動報告

【イベント内容】

参加者とプロジェクトメンバーが
一緒になり、3時間程度スポーツや
遊びを行う

※4館すべて同じスポーツ内容

【参加者アンケート結果】

満足度93%



主なイベント活動例



ニコニコ教室

【実施日】

6月・8月・10月

【参加者】

平塚市に住む幼児及びその保護者

【活動目的】

親子で毎日遊べるスポーツを体験してもらうことで、スポーツの手軽さを伝え、生活の質を高めるサポートを行う

ニコニコ教室 活動報告

【イベント内容】

親子で遊べるニュースポーツを
2時間程度行う

【参加者アンケート結果】

満足度78%



プロジェクト活動を通して 得られた4つの力

①自ら考える力

各イベントごとに役割を変えたことで、プロジェクトメンバー全員が積極的なイベント運営を考え実行することができた

プロジェクト活動を通して 得られた4つの力

②集い力

イベント運営時に連携をとっている機関との話し合い
を行ったことで、イベント内容の改善ができた

プロジェクト活動を通して 得られた4つの力

③挑み力

参加者の満足度80%以上を目指し、新規のイベントの開催や、既存のイベントの運営の見直しを行うことができた

プロジェクト活動を通して 得られた4つの力

④成し遂げ力

以前に行ったイベントの反省を活かして、スポーツを通じたより良い学びを提供できるようなイベントを行うことができた



今年度の反省とこれから

【今年度の反省】

プロジェクトメンバー全員がイベントに参加できるようにするため、イベント数を増やした
→各イベントで十分な準備期間を設けることができなかった

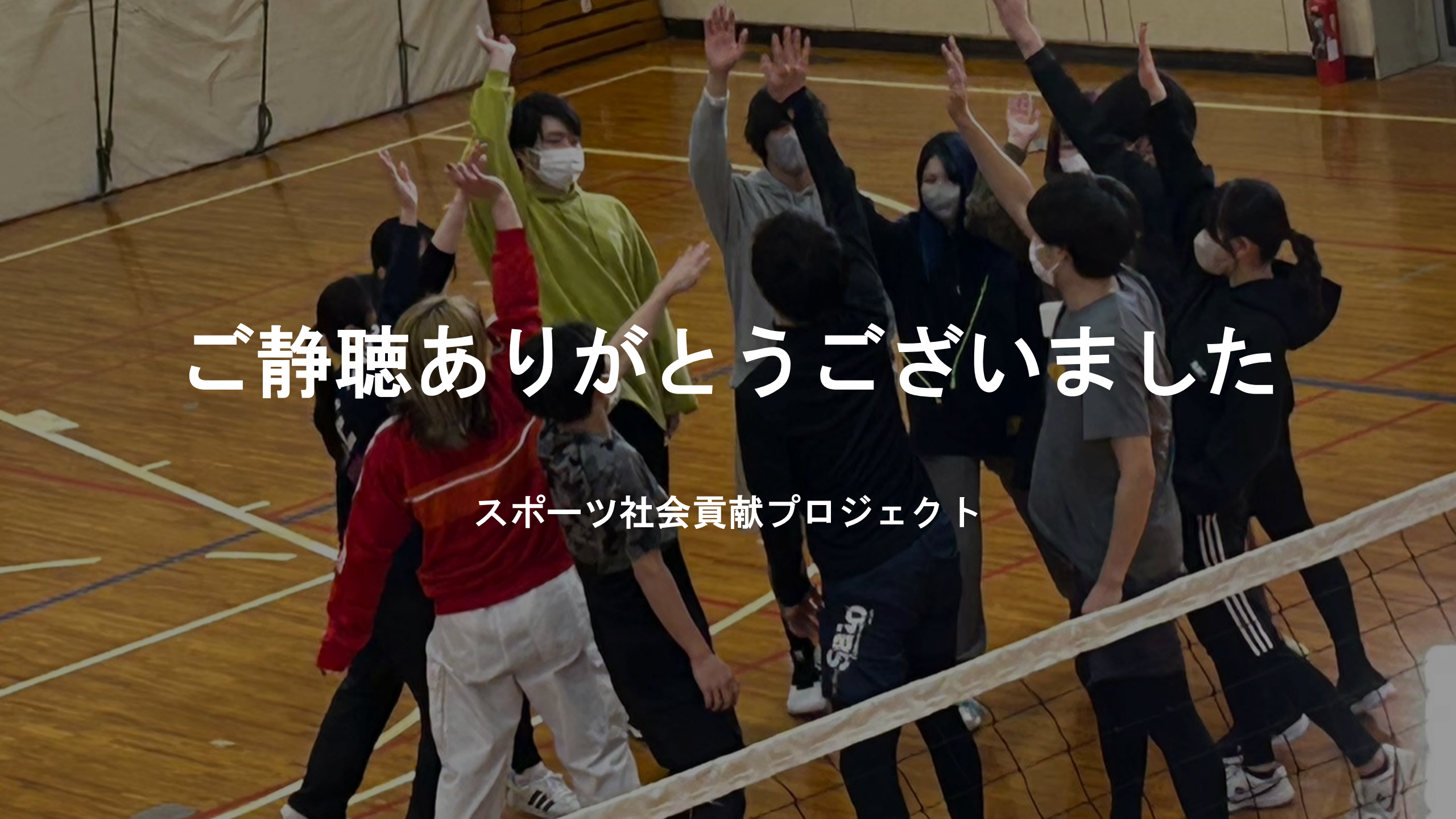
【これから】

イベントの取捨選択を行い、イベントに参加してくれる地域住民へ
充実した時間を届けられるようにする



最後に

スポーツ社会貢献プロジェクトの活動理念の達成
活動を通して得ることのできる4つの力

A group of approximately ten people, mostly young adults, are gathered in a circle on a wooden gymnasium floor. They are all wearing face masks and have their right hands raised high in the air, palms facing forward. They are dressed in casual athletic wear like hoodies and t-shirts. The background shows the wooden floor with yellow and red court lines, and a white wall with a fire extinguisher on the right.

ご静聴ありがとうございました

スポーツ社会貢献プロジェクト